



第四中学校 図書館だより

令和6(2024)年度 第1号

令和6(2024)年4月30日
調布市立第四中学校 学校司書

新年度が始まってまもなく1ヶ月となります。始業式・入学式の頃に満開だった桜も葉桜となり、今はつつじなど色とりどりの花が咲き競っています。四中生のみなさんも新しい生活に慣れてきた頃だと思います。新1年生の図書館利用も始まったので、本棚にすき間が目立つようになりました。2年生・3年生も引き続き、本を探しに来てください。



四中図書館の使い方

- *開館時間:月曜~金曜 10:30~16:15
休館日:入口横の図書館カレンダーで確認しましょう。
- *3冊・2週間借りられます。
- *借りるときは **個人貸出カード** を使います。
カードを生徒手帳カバーに入れて、図書室に来るときは必ず持って来るようにしましょう。
- *カードを持っていない人は、「学年・組・番号・名前」をはっきり言って借ります。
- ***貸出期限票**を確かめて、遅れないように返しましょう。

- ***マナーを守って利用しましょう。**
- ・手指をきれいにしてから利用する。
- ・密集・密接・大きな声禁止
- ・走らない・遊ばない



- ・借りた本は、置き場所に気を付けて、返すまできちんと管理する。
- ・汚さない、ぬらさない、破らない
- ・破れた本・ぬれた本などは、そのまま司書に渡してください。



学校司書・森ますみです。よろしくおねがいします。

- ***返却日までに読み終わらないときは**カウンターで**貸出期間延長**の手続きをします。(ただし、その本に予約が入っている場合は延長できないこともあります。)

***図書館の本の並び方には法則があります**
「**日本十進分類法**」(NDC)が図書館の基本で、
分類番号順→**同じ分類の中は図書記号順** に並びられています。

〈請求記号〉

913	→ 分類番号 (913:日本の小説)
ハ	→ 図書記号…著者の頭文字 または、書名の頭文字

*検索パソコンで検索すると、探している本が四中図書館にあるかどうか、どこにあるかと、くわしい内容などがわかります。**請求記号**(分類番号と図書記号)で、本がある場所を探しましょう。

***本の背ラベルの上に貼ってあるシールは?**

- ・**禁帯出** →貸出できない本
(辞典・事典・図鑑・年鑑・マンガなど)
- ・**ほんとのであい 2023**
→調布市立中学校司書8人のおすすめ本
- ・**教・1年** →国語教科書に出てくる本

*検索した結果、四中中に所蔵していて貸出中の本と、他の学校に所蔵している本は、**予約**ができます。カウンターに申込用紙があります。

学級文庫の利用

- ・図書委員が朝読書のために選んだ本です。
- ・図書委員が本の管理をしています。
- ・読んだ後は、必ずボックスにもどしましょう。
- ・教室からは絶対に持ち出さないでください。
- ・借りて帰りたいときは、図書館カウンターで個人貸出手続きをしましょう。
(図書委員にも連絡してください。)



☆入学からの合計貸出冊数によって、貸出カードがランクアップします。(ラミネート加工済です)
合計貸出冊数20冊 →**クローバーカード** (4冊借りられます)
75冊 →**シルバーカード** (5冊借りられます)
150冊 →**ゴールドカード** (6冊借りられます)



*各学期に数回、貸出実績によって発行予定(申込は不要)

募集中!

“ほんとのであい” にあなたのイラストが載ります!!

毎年発行している“ほんとのであい”（市立中学校司書によるおすすめ本のリスト）に載せるイラストを、みなさんから募集します。2学期には、調布の中学校8校にお披露目!

〈募集作品〉 イラスト・・・5点

※表紙及び本文カットとして使います

〈応募用紙〉 図書室に用意してあります。

〈締切〉 7月19日(金)

詳しくは各学校司書にたずねてください。

選考は中学校司書全員で行います。

みなさんからのたくさんの応募を

お待ちしております!



*『ほんとのであい』リストのバックナンバーと、紹介されている本を図書室に展示しています。
*2023年版の中から一部をここに紹介します。

リストは4ページ。
23冊紹介しています。



こうくん
香君 上・西から来た少女 下・遥かな道 913ウ
上橋菜穂子/著 文藝春秋
ばんしょう
香りで万象を知る〈香君〉に守られ、奇跡の稲「オアレ稲」によって発展した帝国。他の穀類を枯らし、土を変えてしまう強い稲だが、高温多雨で害虫が大量発生し、災いが連鎖する。様々な〈香りの声〉がわかる少女アイシャは、オアレ稲の呼び声の意味を知り、飢餓を回避するため、仲間と共に闘う。

彼の名はウォルター 933口
エミリー・ロッド/著 さくまゆみこ/訳
あすなる書房
歴史的な町への遠足の途中でバスが故障し、嵐も近づくので丘の上の不気味な屋敷に避難した先生と4人の生徒。コリンが手書きの本を見つけて読み進めると、不思議な現象が起り始め、本の絵とそっくりな幽霊まで現れる。物語の中の宮殿はこの家?! ウォルターの物語に秘められた真実とは?

命のスケッチブック 916ナ
中谷加代子/語り
小手鞠い/構成・文 静山社
ある日突然、大切な娘を事件で亡くした中谷さんが講演会で語った言葉をもとにして、つくられた本。加害者が自殺してしまい、事件の真相も分からなくなってしまった。苦しくつらい日々の先に見つけた生きる意味とは。命ってなんだろう。一緒に考えてみませんか?

ソノリティ はじまりのうた 913サ
佐藤いつ子/著 KADOKAWA
吹奏楽部というだけで、合唱コンクールの指揮者を任された内気な早紀。クラスメイトはバラバラで、まとまる気配もない。等身大の悩みを抱える5人の中学生が、合唱コンクールを通じて織りなす、友情、恋愛、部活、チームワークの学園青春ストーリー。

7.5グラムの奇跡 913ト
砥上裕将/著 講談社
し.のうくんれんし
眼科で検査等を行う視能訓練士は器用さが求められるが、野宮は不器用。だが、この仕事しかやりたいことはない、と思っている。新人として働き始め、失敗の連続で落ち込むことも多いが、院長や先輩、患者さんに見守られながら学び成長していく。目が見えることの奇跡についても知ることができる。

6カ国転校生 ナージャの発見 372キ
キリーロバ・ナージャ/著 集英社インターナショナル
ロシア、日本、イギリス、フランス、アメリカ、カナダ。ナージャは、この6カ国の公立学校に通いました。「授業で使う筆記用具は?」「満点とは?」など、国ごとの違いに戸惑いながらも、ナージャはそれぞれの良い所を発見します。そして言います。「正解はない。違いがあるだけ。」あなたも自分が思っている「ふつう」を壊しませんか?

※第四中学校ホームページで、「ほんとのであい」2023年版と毎月の「四中図書館だより」を見ることができます。